

ればいいの？

との対策

今回は、大雨・台風・地震時の対策を紹介します。

1 case

大雨の場合

大雨や強雨が原因となって起こる主な災害には洪水害・浸水害・土砂災害（土石流、がけ崩れ、地すべり）があります。



ポイント

土石流は流れ下るスピードが速いため、土砂の流れる方向に対して直角に、または高い所に向かって逃げましょう。

対策

- ・ 1 時間に 20 ミリ以上、降り始めてから 100 ミリ以上になったときは被害の恐れがあります。
- ・ 土砂災害の危険を知らせる前ぶれに気が付いたら、避難をしましょう。
 - ①雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
 - ②急に川の流れが濁り流木が混ざる。
 - ③山鳴りがする。
 - ④がけに割れ目が見える・水が湧き出る。
 - ⑤がけから小石がばらばらと落ちる。

2 case

台風の場合

気象情報に注意して台風がくる前に対策をとりましょう。



ポイント

強い風が弱まっても、1～2時間後に再び強風が吹くことがあるので、注意をしましょう。やむをえず戸外に出るときはヘルメットや安全帽を。

対策

- ・ 家の備えは？
 - ①窓や雨戸にはカギをかけ、必要ならば外から板を打ち付けておく。
 - ②側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
 - ③風でとばされそうな物は固定しておく。
 - ④ガラスの飛散防止のためにガラス窓にテープを貼り、カーテンやブラインドをおろしておく。
 - ⑤断水に備えて飲料水と、浴槽に水を張るなどしてトイレなどの生活用水を確保しておく。

災害時どうす

ケースご

3 case

地震の場合

大地震が起きた場合、時間の経過ごとにすべきことが変わっていきます。



ポイント

厚手のスリッパやスニーカーを近くに用意しておきましょう。
2～3日分の食料などは自分で準備しておきましょう。

対策

- ①地震発生…落下物から身を守るため丈夫な机の下に入り、頭を保護しましょう。
- ②発生直後…しっかりと火の始末をし、出火を防止しましょう。
- ③発生後…家族の身の安全を確保しましょう。隣近所の安否を確かめ合い、助け合いましょう。

災害伝言ダイヤル「171」（NTT 西日本）

電話がつながりにくい災害時に役に立ちます。利用方法を知っておくと便利です。

1 伝言録音時間…30秒以内

1 伝言保存期限…2日（48時間）



非常時に備えた心構え

（詳しくは、くらしの便利帳 P51～・町ホームページに掲載していますので、ご確認ください。）

- ① 家族の役割分担確認
- ② 火の始末と初期消火の方法確認
- ③ 避難場所の確認
- ④ 家族の連絡先と連絡方法確認
- ⑤ 水・食料などの備蓄と非常時持出品の準備
- ⑥ 家具・危険物などの点検整備
- ⑦ 家の周りの危険場所の点検・災害に関する正しい知識習得

!? もし被災箇所を見つけたら？

豪雨等による被災箇所、災害のおそれがある箇所をみつけたときは、担当部署へ連絡してください。

被災箇所など	本庁担当部署	各支所
町道・河川及び国道・県道	建設課 土木係 ☎ 9-3338	産業建設課 土木係・農林係 油木支所 ☎ 2-0213 豊松支所 ☎ 4-2214 神石支所 ☎ 7-0152
農地・農業用施設 (農道・ため池・用排水路・頭首工など)	産業課 農村基盤整備係 ☎ 9-3337	
林道・林業施設・山林		